

令和5年度第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会 会議録

日時：令和5年12月26日（火）午前8時45分から10時

会場：多摩市役所 第二庁舎会議室

出席：委員8名（会長、副会長、委員6名） 事務局（図書館）4名

欠席：委員3名（教育部教育センター長（兼）健康福祉部発達支援担当課長、永山公民館長（兼）関戸公民館長、子ども青少年部児童青少年課長）

開会

1 会長（図書館長）挨拶

会長

只今より、令和5年度第1回第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会を開催する。本日、委員は8名出席、3名欠席で、定足数に達している。

関係課、各学校におかれては、日頃より子どもの読書活動の推進に多大なるご理解・ご協力をいただき、「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」の施策の検討・実施をさせていただいており、大変感謝している。

本推進連絡会はコロナ禍のためしばらく書面開催としており、対面での開催は令和2年度以来となる。委員の変更もあったため、簡単に「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」の説明をさせていただく。

本計画は平成30年3月に策定をした。この計画にある14の施策に基づき、図書館、関係課、関係機関、学校、地域が連携して取り組むことで、子どもの読書活動推進をしていくというものである。計画期間は平成30年度から今年度（令和5年度）となっている。「第三次」ということで、第一次、第二次と重ねてきて、この第三次計画は市立図書館と学校図書館を軸として読書環境の整備・充実を図ることを重点として位置付けている。

（事務局）

（資料1から7、追加資料、参考資料の確認）

2 委員の変更について

会長

資料1は、令和5年10月1日現在の各連絡会の委員名簿である。連絡会の構成については、資料2に図示している。小・中学校連絡会、市民ボランティア連絡会、庁内連絡会があり、そこでの計画の進捗確認や情報共有を、図書館

の企画運営担当2というラインでまとめた上でこの推進連絡会で報告されるという体制になっている。

推進連絡会では4月1日付の異動等があり、顔ぶれが大きく変更になっている。なお、任期は令和6年3月31日と資料にあるが、計画期間を1年延長することを予定しているため、令和7年3月31日までとなる。ご承知おきいただければと思う。

設置要綱に定められている副会長について、以前務められていた方が異動となったため、本日委員の互選で新たに決定したいと思うが、どなたかお願いできるか。

(立候補無し)

会長

それでは、高橋統括指導主事をお願いしたい。

(全委員賛成)

会長

それでは、高橋統括指導主事に決定する。

3 議題

会長

議題が(1)から(5)までであるが、委員の方の時間の都合上、主な議題を先に行う。(1)から(4)は報告が中心となるので、(5)を最初に議題とする。

(5) (仮称) 第二次多摩市読書活動振興計画の策定について

会長

図書館としての個別計画「第三次多摩市子ども読書活動推進計画」「第二次多摩市読書活動振興計画」の2つの計画に基づき取り組みを行っているが、計画期間の終了が近づいており、次の計画策定時に一本化したいと考えている。皆様にも関わっていただくためこの場で説明し、ご意見をいただき、1月以降の教育委員会で協議をし、具体的に計画策定に向けて進めていきたい。

(資料7-1、2、3に沿って説明)

【質疑、意見、回答】

委員

児童、生徒にアンケートを取るということだが、現在学校には、様々なアンケートの依頼がある。「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」のこともあるので、子どもたちにも意見を聞かないと「子どもの意見を軽視しているのか」ということになりかねず、子どもたちに意見を聞くことは悪いことではないが、アンケートのための時間というものは、学校にはない。学校でも、アンケート回答の時間の確保に非常に苦慮している。市教育委員会独自のもののほか、都や国からもアンケートの依頼がある。児童・生徒へのアンケートを実施するのであれば必要十分なものにしていただきたい。一方で、「子どもたちの意見をしっかり聞いたのか」ということが繰り返されないように、策定委員会で、その点については十分留意したという形でできればよいと思う。内容については、次期計画策定の4つの考え方（資料7-1 2次期計画策定の方針（1）計画内容の基本的な考え方）のうち、どの部分について聞いているのか明らかなものにする必要がある。学校教育に関することを質問するのか、義務教育終了後も読書に親しむためという意味で、例えば計画策定の③④（資料7-1 2次期計画策定の方針（1）計画内容の基本的な考え方③④）に関わるような内容を、発達段階に応じて質問するのかが等。十分に検討した上でのアンケートにしなければ、「自分たちの意見がどう反映されているのか」と児童、生徒から聞かれた際、返答に窮するものになってしまう。以上のことを踏まえた上で、アンケートの時期、量、フィードバックの仕方の方針を決めていただきたい。

会長

今ご意見いただいた内容はある程度教育委員会でも共有されており、私も承知している。現行の計画の策定時は、小学2年生、5年生、中学2年生に、紙でのアンケートを実施した。教育指導課と調整の上での実施であった。当時とは状況が変わっているため、今回は早めの調整が必要であると承知している。この後すぐに、教育指導課と調整する。アンケートを実施するにあたり、本来的には策定委員会を設置し、4月以降の第一回策定委員会で質問項目を示し、漏れがないかを確認した上で実施するのがスケジュール的にはよいと考えている。しかしその流れだとアンケート結果を計画に盛り込むのが遅くなる。そのため、アンケートの項目、手法等は策定委員会の開催より前に、2月の図書館協議会等で意見を聞き決定したい。アンケートの手法、時期、項目については一度持ち帰り、本連絡会での意見も踏まえ検討し、必要な機関に相談しながら決定する。前回策定時のアンケート結果と比較して数値の動きを

見る必要がある内容もある。そのような質問項目については、前回の質問を部分的に再度盛り込み、新たな項目と組み合わせながらボリュームが出ないように注意する。

委員

行政の側からすると確かに「昔この内容でアンケートをとったから今回も」という部分はあるが、項目は何なのか、取りまとめはどこがするのかを明確にし、目的を理解したうえで、手法、内容、時期の検討をしてほしい。実施時期については学校側と十分調整する必要がある。

会長

児童、生徒へのアンケートについては、校長会等でも話をしながら進めたい。

委員

基本的なことだが、「資料7-1 2次期計画策定の方針 (1) 計画内容の基本的な考え方①~④」について、2つの計画をひとつにまとめるということだが、③④の内容について決定するということか。

基本方針「市民の知るを支援する」ということだが、どんな本を整備するかということや、学校図書館を整備することについて、また図書館に設置するのはどんな本がいいのか等についても検討するのか。

また、②にある「5つの運営方針」とは何なのか。文章がうまく繋がっていない。図示した方がわかりやすいのではないか。

「基本方針」「運営方針」という言葉を出すのであれば、それらがどのようなものなのかを書いておかないと、異動等で委員が変更になった際、新しい委員が理解しにくい。

会長

資料について、言葉が足りない部分は付け足しをしていく。今回の計画はどのくらい本を買うか等、細かい計画ではない。①~④は特に力を入れる部分ということで考えているものである。

「多摩市読書活動振興計画」は「市民の知るを支援する」を基本方針としており、その下に5つの運営方針がある。「だれもが使える図書館」「子どもの読書環境の整備」「市民や地域に役立つ図書館」「しらべるを支え、つながる図書館」「弾力的な管理・運営」である。「子どもの読書活動推進計画」と一本化するに当たり、これらを再構成したい。それぞれに取り組み項目や指標を加えた計画を策定したいと考えている。

今後、教育委員会等に諮るときは、どのような取り組みを行う計画なのか、現在の問題点は何か、何が求められているのかという内容を付け足した説明をする。

委員

2つの計画を一本化すること、また②には基本的なことを継続するという内容が書かれていること、③で新たに地域特性を考慮すること、④で新たに運営方針について盛り込むことがわかった。

「どのような計画にしたいか」ということが「2 次期計画策定の方針」に書いてあるということがよくわかった。

委員

学校の事務員の集まりから、学校図書館の本の買い替えの要望が出ている。予算を付けているが、後ろ盾がないと予算の増強や、大規模な入れ替えは難しい。今回の計画策定では、そういった意見も考慮してもらえるとよい。

会長

今出たご意見を盛り込みながら、今後教育委員会などに諮っていきたい。また、幹事会ということで来年度数回、ご意見をいただく場を設けてまとめていきたいと思っている。

策定委員会の委員をどなたかにお願いするに当たり、参考として皆様にお話を伺うこともあるかと思うので、ご協力いただきたい。

- (1) 令和4～5年度 各推進連絡会の報告
- (2) 令和4年度子どもの読書活動に関する事業（主な実績）
- (3) 令和5年度子どもの読書活動に関する事業（主なもの）
- (4) 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプラン（令和5年度版）について
【図書館・関係課分】【多摩市立小・中学校分】

会長

（資料2～6に沿って説明）

【質疑、意見、回答】

委員

資料6-1の「3 評価指標（数値目標）の達成状況」の「指標2 多摩市

内全保育園、幼稚園における団体貸出の利用率」について。

各園には図書コーナーや図書室が設けられている。「ぜひ図書館の団体貸出もご利用ください」と話をしているが、団体貸出を利用していない園は、卒園した子どもたちが寄付した本を図書コーナーに並べていたりするようである。寄付された本のうち図書コーナーに並べなかったものを廃棄している様子もあり、図書館の貸出サービスと上手くマッチングしておらず残念に思う。

しかし図書館でセット貸出と園までの配送が始まったことで、園の図書館利用が増えていくのではないかと思う

会長

幼稚園や保育園へは、園長会などでも案内をしている。また今年度から園向けに本のセット貸出も始めた。これは団体貸出の中での取り組みである。これまでの団体貸出は、図書館に本を取りに来ていただいて貸し出しをするが、セット貸出は本をセットにしたものを図書館から園へお届けするという事業である。児童館や学童クラブ向けに行っていたが、図書館に来にくいという園にも利用してもらおう目的で、取り組み始めた。

卒園生から本の寄付がある園では、セット貸出はあまり必要ではないということだろうか。そうであるならば、違う取り組みも、図書館は考えなければならぬ。

委員

「セット貸出をととても喜んでいる園もある一方で……」という状況である。

会長

参考にさせていただく。

委員

パルテノン多摩の「こどもひろば OLIVE」は団体貸出を利用しており、とても助かっている。パルテノン多摩は本を買う予算がなかったが、図書館と連携して、子ども向けの本や、文化・芸術に関する本をそろえていただいた。団体貸出を利用したことで、パルテノンに来たお子さんが本を開いている様子が見受けられる。

ただ、比較的最近のこのため、アクションプランにその内容は掲載されていない。参考までにお話した。

会長

確かにここ数年のことなので、アクションプランにそのような項目は載っていない。現在、パルテノン多摩の子ども広場へは1000冊の貸出をしており、月に2度ほど手入れをしている。また、本の入れ替えも定期的に行っているもので、継続していきたい。置いてほしい本の情報をいただければ、揃えられるものであれば貸出をする。また「こどもひろばOLIVE」でのイベント等もできるかと思うので、ご協力できればと思う。

委員

資料6-3について、新型コロナウイルスの影響があった事業は、健康推進課では2つある。

パパママ学級については、妊婦さんたちも慎重になっていたのも、感染対策を念入りにしていた部分であったが、再開予定である。

3～4か月健診も、対象者のほぼ全員が受診される。ブックスタート事業での読み聞かせも再開し、図書館のご案内をしていただいております非常に効果的ではないかと思う。子育ての中で図書館をどう利用できるか、参考になると思う。3～4か月健診も、コロナ禍では慎重に実施していたが、今後は推進していきたいと考えている。

会長

保護者の方優先で取り組みを進めていたため、なかなか進まない部分もあった。コロナ禍前と後で保護者の感覚も違う部分があると思われるため、工夫が必要である。ニーズに合ったサービスを紹介していきたい。

会長

ほかにご意見、ご質問等がなければ、これで議題については終了とする。

本日は参考資料として、紙の資料をいくつかお渡ししているので、最後にそちらについて説明する。

(参考資料の説明)

閉会